

山陰海岸国立公園 熊井浜で磯の観察会

～ジオパークの海をのぞいてみよう～

山陰海岸国立公園は岩石の種類の豊富さ、分布の複雑さなどから地質の公園とも呼ばれ、平成 22 年 10 月には世界ジオパークネットワークにも加盟認定されています。山陰海岸国立公園内にある熊井浜は、天然湾であり、砂浜と岩礁、それぞれの特徴をもった自然環境が見られます。

平成 27 年 8 月 2 日（日）、熊井浜で磯の観察会を開催し、参加者 22 名（大人 11 名、こども 11 名）に、自然環境の基盤となっている地形・地質や海の生きものに関する解説等を行いました。

- 10:00～ ライフジャケットや水中メガネの使い方のレクチャー
- 10:30～ 生き物さがし
- 11:30～ 講師による生き物解説
- 12:00～ 昼休み
- 13:00～ 生き物さがしと解説
- 14:30 終了



採集できた生き物は、アメフラシ、ウミウシ、ヒトデ、サザエ、バフンウニ、ムラサキウニ、ヒラメ、ギンポ、クボガイ、トコブシ、アワビ、エビ類等で、貝の仲間からエビ、魚など色々な種類の生き物を捕まえて、観察することができました。魚を捕まえた際は、動きが素早く、網で捕まえるのに苦戦したこともあって、こどもはもちろん、大人も夢中になっていました。

生き物解説では、講師の先生からヒトデやウニの動き方や、トコブシとアワビの違いなどについて、実際に実物を見ながら教えてもらい、大人もこどもも興味深そうに聞いていました。

参加者の中には、海に入るのが初めてのこどもや、水中メガネが使えずはじめは箱メガネを使用したこどもも数名いましたが、午後には無事全員が水中メガネを使用して水中観察ができるようになりました。

観察会の最後には、毎年参加したいとの感想や、次回からは自分たちだけでも水中観察をしたいとの感想を聞くことができました。

